

## 未払賃金立替払事業（平成24年度）の実施状況について

このたび、平成24年度における未払賃金の立替払事業の実施状況を取りまとめました。その概要は、以下のとおりです。

※ 未払賃金立替払事業とは、企業倒産に伴い、賃金が支払われないまま退職を余儀なくされた労働者に対して、未払となっている賃金の一部を、事業主に代わり立て替えるもので、独立行政法人労働者健康福祉機構が支払等の業務を行っています [参考]。

### 概 要

#### 【1】平成24年度の立替払状況 ※（ ）内は、対前年度比。

平成24年度の立替払状況は、

- ・企業数は、3,211件(12.8%減)
- ・支給者数は、40,205人(5.7%減)
- ・立替払額は、175億736万円(12.2%減)

と、すべて前年度を下回りました [表1]。

支給者一人当たりの平均立替払額は、43万5千円でした [表1]。

立替払額は、平成21年度以降、3年連続減少しました [図1、表5]。

#### 【2】半期別の立替払状況 ※（ ）内は、対上半期比。

平成24年度の半期別の立替払状況は、

- ・企業数は、上半期1,573件・下半期1,638件(4.1%増)
- ・支給者数は、上半期17,456件・下半期22,749人(30.3%増)
- ・立替払額は、上半期76億5,450万円・下半期98億5,285万円(28.7%増)

となりました [表2]。

#### 【3】企業規模別の立替払状況

平成24年度の企業規模別の立替払状況は、

- ・対象企業は、労働者数30人未満の企業が最も多く、全体の89.3%
- ・立替払額は、労働者数30人未満の企業が最も多く、全体の53.8%

となりました [表3]。

なお、立替払額は、労働者数30人未満の企業と30人~299人の企業をあわせると、全体の95.9%に上りました [表3]。

#### 【4】業種別の立替払状況

平成24年度の業種別の立替払状況は、立替払額では製造業が全体の28.5%を占めており最も多く、次いで、商業、建設業の順になりました [表4]。